



民主教育の確立を！教え子を再び戦場へ送るな！

# 団結！北薩！

2016.1.22 (金) 発行 編者 黒木 健史 (通算第8号)

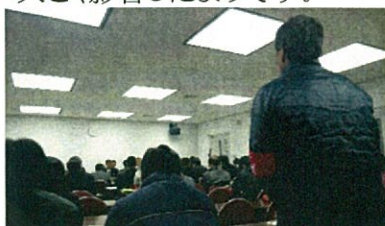
## はじめに

## 新春 1 月号

中国の景気後退、原油価格の下落は、新年からの世界同時株安を招き、経済の好調を唯一の自慢としていた強気の政権も、多少は謙虚な姿勢になるのでは？と淡い期待もしつつ、今こそ平和と民主主義を守る運動を今後も粘り強く進めていく必要性を自分の中で改めて確認することができました。

## 人事評価制度はいつたい？

13日(水)多くの学校が定時退庁日に指定しているらしい曜日に本部提起の「人事評価制度」の全員学習会(写真上)を開催しました。約50人の参加があり、「評価制度は教育現場には百害あって一理なし」の意見ばかりでした。制度の導入は法改正がない限り避けられない現状ではありますが、その運用でいかにリスク回避を図るか？が1月にずれこんだ賃金確定交渉の最大の焦点でした。そして、20日(水)15:30より、今年度の交渉の山場を迎えました。支部からの参加は10人。交渉は夜通し翌日21日の時の14時前まで続きました。最後の最後で、「評価が賃金にリンクする制度の運用について、3年後に改めて協議」となりました。北薩からも2人の論客が県当局に評価制度と現場の実態(学校の協同性や校長の評価者としての力量不足)について鋭く訴えたのも大きく影響したようです。



県当局に熱く語る北薩の猛者2人

## 戦争法の廃止を求める統一署名

ご協力お願いします！！送り先は、最寄りの教育会館へ

## でも、がんばる行動

お問い合わせは、支部まで

- 1月 28日 (木) 18:00 「労働相談」チラシ配布行動 (川内駅前)
- 2月 27日 (土) 14:00 「戦場ぬ止め」上映会 (川内まごころ文学館)
- 3月 13日 (日) 10:30 さよなら原発3.13集会 (鹿児島中央駅東口)



北薩支部執行委員会新年会

薩摩川内川北川南ブロック新年会

「みんなの学校」自主上映会&対話集会に110人が参加  
9日(土)土曜授業の午後、薩摩川内市のまごころ文学館において「障がい児教育部」の主催、薩摩川内地区協の協賛でありました。参加者は教職員のほか保護者、児童生徒、地域の人たちなどさまざまで、上映後の意見交流の場では校長がリーダーシップをとる「子どもを分けない学校」の姿を讃える声、理想を現実なものにしていくことの難しさを指摘する声など活発な意見が交わされました。

(感想)「こんな学校になったらいいのに」から「こんな学校にしたい」の意識に変わりました。  
・現実ではいろいろな規制が多く、変えていくたくてもむずかしいことが多いでしょうね



## 現場のあれこれにツッコミを入れる新感覚の企画

### 第8回「中1ギャップ」

「小中一貫」がますます流行り出し、義務教育学校なるものまで登場しましたが、何が何でも推進する当局はその理由として、「小→中という心理的、文化的、学問的環境の変化に対応できず、不登校、引きこもりになる子どもが増える・・・だから、その変化を少しでも和らげよう！」と主張します。でも、環境の変化こそ、再スタートのチャンスととらえることもできますよね。中学のとき不登校だった子どもが、高校生になってからはまるで別人になったかのよう  
に欠席がなくなって、今ではリーダーになって大活躍って話も聞きます

## ちょっとフレイクしませんか?? シズ☆カフェ 8杯目

川薩教育会館の玄関が暗いというご指摘があり、某店でセンサー付きライトを買いました。「置く」タイプもありましたが、盗まれるといけないと思い、「壁打ち付け」タイプを購入しました。が、案の定、うまく打ち付けられず、いまだ玄関のスリッパ上に置きっぱなしです。盗まれはしませんが、意味ないです。